

「必殺錆封じ」標準塗装仕様

【材料一覧表】

材 料	商 品 名	希 釈
1液反応硬化型樹脂塗料	必殺錆封じ	-

(20°C, 65%RH)

工 程	商 品 名	塗回数 (回)	色 相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗布量 (g/m ²)	乾燥膜厚 (μm)	間隔時間 (hr)		
									工程内	工程間	最終養生
素地調整	●錆の発生箇所には3種ケレン以上の作業を行ってください。 ●旧塗膜が完全に剥がれ素地が露出している部分、剥がれの恐れがある部分はスクレーパー・剥離剤などで塗膜を完全に除去してください。 ●旧塗膜の活膜部分につきましては表面に目荒らしを行ってください。 ●高圧洗浄にて被塗面のダスト類の除去を行ってください。海水・酸・アルカリなどが付着の恐れがある場合には、清水洗浄を行ってください。 ●被塗面に段差、錆穴等がある場合は下地補修材(【アルミパテ防錆(J)】等)を用いて下地調整を行ってください。										
下塗り	必殺錆封じ	1~2 (※)	無色 (やや茶色)	-	-	ローラー 刷毛	100	8	0.5以上	2以上	-

(※) 錆面については30分程度時間をおいてから、もう一度塗布(2回塗り目)をしてください。

【使用方法】

- 1) 浮き錆はハンマリング等で除去し、錆面全体をサンディング及びワイヤブラシ等で三種ケレン以上のケレンを行ってください。
- 2) ケレン作業後、被塗面に付着しているダスト類の除去を行ってください。
海水、酸、アルカリ等で汚染されている場合には、ケレン作業後、清水洗浄を行ってください。
- 3) ポリエステルパテを使用する場合は、塗装後乾燥時間を30~40分取ってください。
- 4) 上塗り塗装は、2~3時間経過後、塗布面にタックがある間に塗装してください。
- 5) 塗装面が完全に硬化した場合には、ペーパーをあててから上塗り塗装をしてください。
- 6) 塗装面にぬめりが残っている場合はウエスで拭き取ってから上塗りを塗装してください。
- 7) 上塗り塗装にエポキシ系塗料・水溶性塗料を塗装する場合には、必殺錆封じを12時間以上乾燥させ、表面がガラス状に硬化してから、ペーパーをあてて上塗りを塗装してください。
- 8) 乾燥時間は、気温20°C・湿度60%の環境下での目安です。

【使用上の注意】

- 1) エポキシ系塗料を上塗りで使用する場合は、必ず必殺錆封じが完全に硬化していることを確認し、表面研磨を行ってから塗布してください。
- 2) 金属面の結露には十分注意し、結露している場合には乾いたウエス等でよく拭き取ってから塗布してください。
- 3) 上塗り塗料によっては、錆封じがにじむ場合があります。上塗りは、一度塗りではなく、乾燥時間を取って二度塗り以上を行ってください。
- 4) 5°C以下、または湿度30%以下の環境では塗装しないでください。

養 染めQテクノロジー

〒306-0313 茨城県墨田郡五霞町元栗橋5971
 TEL.0280-80-0005 (代) FAX.0280-80-0006 (代)
 E-mail:support@somayq.com <http://www.somayq.com>

2020.02 作成